

第2回勝山警察署協議会

開催日時	令和7年7月30日（水）午後4時から
開催場所	勝山警察署 2階講堂
出席者	勝山警察署協議会委員 5名 勝山警察署員署長以下 6名
協議会の概要	
1 開会 2 会長挨拶 3 署長挨拶 4 提言及び事務概況説明 5 速度取締り指針説明 6 質疑・意見及び応答 ○ 委員： 交通取締りについて、中部縦貫道の勝山インターチェンジでシートベルトの取締りをしているのを見かける。 ● 警察： 過去に、勝山インターチェンジから市内に入ってきた車両が、交差点で事故を起こし、シートベルト不着装が原因で交通死亡事故となった経緯があったので取締りを行っている。 ○ 委員： 勝山インターチェンジの出口は一旦停止の標識のみで信号がないので危険と思われるがいかが。 ● 警察： 勝山インターチェンジ出入口交差点に信号機を設置した場合、土日など勝山へ入ってくる車両が増える時などは、中部縦貫道本線にまで滞留車両が伸び、逆に危険性が高まると思われる。 ○ 委員： 高速道路での逆走車両のニュースをよく目にするが、勝山でそのような事案はあるのか。 ● 警察： 本年は、現時点、当署管内での発生は認知していない。 なお、当署では先日、大野警察署、高速道路交通警察隊と合同で逆走車両を認知した場合の想定訓練を実施しており、今後も定期的の実施していく予定である。 ○ 委員： 中部縦貫道路で交通事故があった場合、片側一車線なのですぐに渋滞してしまうが、その場合、中央のゴムのポールをまたいでUターンしてもいいか。 ● 警察： 警察官の指示誘導があればUターンは可能ですが、独自の判断でUターンした時は違反になる場合がある。 ○ 委員： 中部縦貫道路で交通事故があった場合、渋滞している場所まで行かないとその状況が分からないし、通行止め等の解除時間も分からないので、一定の区間毎に道路状況の案内表示か何かがあるといいと思う。 ● 警察： 勝山インターチェンジ入口の電光掲示板で案内しており、国土交通省もSNSにより道路状況を発信しているが、どうしてもタイムラグがある。	

しかし、早めのSNS等の確認をお願いする。

- 委員： 以前新聞に、県内の高校で、「闇バイト」の危険性をゲーム感覚で体験できるシステムがあり、このシステムにより実際に生徒に体験させ学ばせたという記事を読んだ。これは非常に良いシステムだと思うので、県内のどの高校でも、このシステムを使い生徒に学ばせることが出来たらいいと思う。
- 警察： 民間業者が制作したソフトだと聞いているが、勝山の高校等でも使用できるか確認する。
- 委員： 新聞で、ゲームの景品で流通したおもちゃの拳銃が殺傷機能を有しているので回収しているが、かなりの数が回収できていないという記事を読んだ。そのような拳銃を持っている人が近くにいるかもしれないと思うと、非常に不安になる。
- 警察： このおもちゃの拳銃については、機能的に、本物の銃弾を込めた場合弾が発射出来てしまうというものである。もし、そのようなおもちゃの拳銃を持っている人がいるという話を聞いたときは、すぐに警察に連絡いただきたい。

